

環境基本計画評価・意見（平成 29 年度実施分）まとめ

1 ヒトにやさしく、快適な環境で安心して暮らせるまち

1-1 公害のない安心・安全な暮らしの確保

- 1-1-1 事業活動等から生じる典型 7 公害に係る環境基準及び関連規制を満たします。
- 1-1-2 ため池の水質改善を図ります。
- 1-1-3 河川・海域の水質改善を図ります。
- 1-1-4 地場産業である畜産業の発展のため、ふん尿処理に起因する臭気について、対策を図ります。

1-2 快適な市民生活環境の確保

- 1-2-1 交通流円滑化・交通量低減対策を図り、交通渋滞を解消します。
- 1-2-2 住環境の向上を図るため、市街地を整備します。
- 1-2-3 生活に起因する環境問題について、適切な対策を図ります。

評 価	AA - 0 A - 10 B - 2 C - 0	 AA	良好です	 B	改善・見直しの必要があります
		 A	概ね良好です	 C	改善・見直しを行い一層の努力が必要です
コメント	【評価できる点】 1-1 ○公害発生源の事業所関係の点検実施進捗状況が計画通りで取り組まれている。 ○近年問題となっている PM 2.5 について測定検討している点。 ○事業活動等から生じる典型 7 公害に係る環境が 1 歩ずつ改善されている。 ○典型 7 公害に係る環境基準値をほぼ満たしていることは評価できる。 ○水質調査を何度実施しても水質が向上するわけではないが、毎月 1 回の水質調査（河川 12 ヶ所、海域 6 ヶ所）は評価できる。 ○一部の河川を除いて目標を達成している。 ○畜産業よりのふん尿処理に起因する臭気について、最近あまり話題になっていないと感じています。改善の効果が出ているのかも。 ○ふん尿に起因する臭気対策がされている。（様々な取り組みがされている。） ○臭気対策の検討が進められている点。 ○臭気対策において大同大学との共同研究を行い適切な対策と監視をできるようにすすめている点は評価できる。 ○地場産業である畜産業からの臭気低減対策を推進する施策として、大同大学と共同研究、臭気低減対策の効果確認、臭気マップの作成、バイオマス発電施設建設の検討等について、様々な主体と連携しながら推進していることは、非常に評価できます。				

	【今後の課題及び期待したい点】 1-1 ○市内協定事業者が典型7公害のどの項目に該当するのか企業名を明記してほしい。 ○阿久比川の水質悪化が河口部の潮流が影響とあるが、海域海水が悪化している要因を県と合同で調査してほしい。 ○阿久比川の水質は阿久比町内の影響が大であるが、せめて、阿久比川の水質調査日は大潮の干潮時に合わせて実施したい。 ○まだ水質について問題の有る河川有り。 ○目標未達河川については原因調査をするとともに、目標未達が具体的にどんな影響をもたらすのかを明確にし、影響が特に問題ないようなものと判断できれば目標を見なおすことも視野に検討すべき。未達のままであると、市民としては不安になる。 ○河川の水質浄化について、農業者や地域住民への出前講座の実施だけでは不十分と考えます。他の地域における取組事例を参考にして、関係者が主体的に河川環境を良くしようとする仕組みづくりが必要ではないかと考えます。 ○半田の文化と観光を代表する地区にある矢勝川の水質改善を住民との協働の取り組みで模索していけたらと考える。 ○河川の水質悪化が改善していない矢勝川、ため池など改善策が打ち出せていない。個人的ではあるが、自分の居住区では、西風や雨降ったあとなど糞尿の臭いが半端なくする。バイオマスの効果を期待しているが、まだそのことが具体化されていない。 ○設置されている合併浄化槽は、すべて、法定点検を実施しているかのデータも必要である。 ○住宅地における臭気問題解決に期待したい。 ○ふん尿処理に起因する臭気についての改善効果が見られない。 ○バイオマス産業が順調に進むと良いと思いますが、思わぬ問題が発生しないよう監視も必要。 ○臭気対策とバイオマス資源の活用。 ○バイオマス産業都市構想の実現により臭気問題も軽減できることを期待したい。 ○畜産農家に臭気低減対策を着実に定着させ、市街地における臭気を少しでも低減させることを期待します。 1-2 ○あちこちで少しずつ改善はされているが、自転車の走行に不適切な道路が多い。 ○災害時の熱中症対策を策定してほしい。(避難所に自家発電、エアコン設置など)
提案補足	

2 地球環境を守り、持続可能な社会を目指すまち

2-1 温室効果ガス排出量の削減

- 2-1-1 市内の温室効果ガス排出量を把握し、地球温暖化対策を各分野ごとに効果的に推進します。
- 2-1-2 産業・業務部門での対策を推進します。
- 2-1-3 運輸部門での対策を推進します。
- 2-1-4 家庭部門での対策を推進します。
- 2-1-5 市（行政）において率先して行動します。

2-2 資源循環型社会の構築

- 2-2-1 ごみを出さない（発生抑制）ライフスタイルや事業活動を促進します。
- 2-2-2 リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）を推進します。
- 2-2-3 廃棄物の適正処理を推進します。

2-3 環境に配慮した事業活動を推進します。

- 2-3-1 環境マネジメントシステムの導入促進を図ります。
- 2-3-2 事業者による周辺住民との自主的なリスクコミュニケーションを促進します。
- 2-3-3 中小企業等の環境に配慮した事業活動を推進します。

評価	AA - 1 A - 4 B - 6 C - 0	 AA	良好です	 B	改善・見直しの必要があります
		 A	概ね良好です	 C	改善・見直しを行い一層の努力が必要です
コメント	【評価できる点】 ○一次的（＝一般的）な取り組みについては幅広く実施されている。 2-1 ○温室効果ガスの排出量削減に関する事業では目標値を十分にクリアしている。 ○温室効果ガス排出量の把握は出来ている。 ○バイオマス利用の研究が、事業者や大学と一定進んでいる点。 2-2 ○家畜排泄物を有効利用し地域のエネルギー資源としようとするバイオマス産業都市構想は、環境面での課題を解決するとともに、畜産産業という地域産業の発展にも寄与することから、大変すばらしい着想であると思います。 2-2 ○産業部門では、よく効果が表れている。 ○「半田市地域公共交通会議開催」により、コミュニティバスの試行運転が開始される。 ○半田市地区路線バス「ごんくる」が運行される。 ○家庭への太陽光発電装置設置が進んでいる。 ○市（行政）において率先して行動されている点。 2-2 ○「もったいないバザール」は市直営であり、直接市民の目に届く、リユース啓発活動の率先垂範的な一例と言えて、評価できる。 ○ごみ有料化についての議論を丁寧に進めている点。				

	○市民に関心を持ってもらうために、工夫して推進した点は評価できる。特に、資源混入を地域別に比較した点は評価できる。 【今後の課題及び期待したい点】 2-1 ○市内の温室効果ガス排出量が定量的に把握されていない。また、地球温暖化対策を分野ごとに効果的に実行されているかわからない。 ○温暖化対策は推進途中かなと思う。 ○エコファミリーの環境面における効果的な活用はまだあるはずである。 ○事業者としての半田市が省エネ法上の S クラスではない。 ○バイオマス産業都市構想を着実に推進させ、地域の独自性を活かした課題解決を進めていただきたいと思います。 2-2 2-2 ○ごみの削減など、取り組みが成果に今一つ結びついていないものについては市民の意見を積極的に吸い上げて開示して、次の対策に結び付けていくことが必要。 ○ごみの排出量を減量するために、家庭系ごみの有料化導入に取り組んでいくとしていますが、検討過程を透明化する、市民に対する説明会を懇切丁寧に実施するなど、その必要性等について、市民の方々に十分に理解されるように進めていただきたいと思います。 ○市民 1 人当たりのごみ減量傾向であるが頭打ち、対策を有料化に求めているが、一時しのぎの対応と考える。発生源での対策を市民に教育宣伝しないと不法投棄が増えそうであり、環境悪化が拡散するのでは？ ○有料化ではごみ減量を根本的に解決できないと思う。企業への声掛け、市民への啓発等ごみを減らす根本的な施策が必要。(市民がごみ減量に積極的に取り組めるような) ○ごみ有料化に合わせた大胆な制度改善 ○家庭で生ごみの堆肥化を行い使用することを促進されることができれば、ごみの減量とリサイクルの一石二鳥と考える。 ○資源ごみの回収率が低下してきていることが気になる。 ○集団資源回収の仕組みの改良 ○資源循環型社会を実現することで、市民に具体的なメリットがあるのかを知らせて市民が、直接メリットが感じられる仕組みづくりをしていただきたい。 ○ごみの発生抑制やリサイクル等による循環型持続可能な社会を目指すためには、市民の意識改革に働きかける必要があると思う。 2-3 ○ごみ焼却工場における環境学習拠点の設置。
提案補足	○平成 34 年 4 月から稼働予定の広域ごみ処理施設でかかる費用が排出割合によって決まることを周知させる。さらに、市民一人一人が、どのような努力をどれくらいすると負担が減るのかを提案する。 ○自治区・学区単位で、生ごみ回収システムをつくり、空き地に市民農園、堆肥つくり、小規模なバイオマスガス・発電施設をつくる。エコ対策を身近に実感、実践できる環境作りをすすめる。

3 豊かな自然を守り、自然と共生するまち

3-1 うるおいのある緑・水空間の整備

3-1-1 緑や水と親しみ、身近に感じられる場を保全・創造します。

3-2 生物多様性の保全

3-2-1 生態系ネットワークに配慮した自然環境保全及び整備を推進します。

3-2-2 特定外来生物についての対策を図ります。

3-3 環境面からの農業振興

3-3-1 環境保全機能を持つ農地を保全します。

3-3-2 緑地確保のため農地の活用を図ります。

3-3-3 地産地消を推進します。

評 価	AA - 2		良好です		改善・見直しの必要があります
	A - 9	AA		B	
	B - 1		概ね良好です		改善・見直しを行い一層の努力が必要です
	C - 0	A		C	
コメント	【評価できる点】 ○概ね各取組の目標が達成されている。 3-1 ○他の市町村に比較し、うるおいのある緑・水空間の整備が確保されている。 ○親水性を考慮した河川の整備がされている。 ○自然と触れ合える空間整備を進めている点。 ○七本木池の公園整備により多くの人が楽しんでいる。 4-3 ○雁宿公園の整備により、交通公園及びプール跡地一帯が花見を楽しむ名所として生まれかわった。 4-3 3-2 ○河川に魚道（水の段差の軽減）が設けられている所が有り、評価できる。 ○河川、ため池、公園などで生き物調査が継続的に取り組まれている。 ○有脇区や横川区で実施するため池の「かいどり作戦」への市のバックアップは目に見える環境活動として評価できる。 3-3 ○学校給食において市内企業の調味料を使用し、地産地消を図った点は評価できる。 ○学校給食への地元農産物の使用、児童体験農業、食のフェスティバル等の事業は、食育、地産地消、地元産業育成といった観点から、非常に良い事業であると思います。				
	【今後の課題及び期待したい点】 3-1 ○親水型工事で施工した河川やため池で草丈が伸びすぎて親水の状態になっていないことが時々ある。親水部分だけでも草の管理（見回り）を徹底されたい。 ○ため池と耕作放棄地の活用保全に期待します。				

	3-2 ○生物多様性の保全を目的に掲げており、それに見合った用地確保（自然環境学習公園）など具体的施策を持ち耕作放棄地を活用するなど農地の用途変更などしてほしい。 ○環境基本計画に「生態系ネットワークに配慮した整備」のビジョンすら皆無というのは残念。 ○街路樹整備として、野鳥が自由に移動できる緑の回廊作りも実施して頂きたい。 ○希少野生動植物の保護について周知が必要。（河川への鯉の放流による影響等） ○外来生物が身近に多く存在しており、今後どのように取り組むかが課題である。 3-3 ○環境保全型農業の推奨。 ○耕作放棄地の有効活用については、他の自治体の成功事例を参考にしたり、市民へのアンケートなども活用したりする中で、見直していく必要がある。 ○児童体験農業のための圃場の確保を進めたり、J Aとの連携を深めたりしていくことにより、さらに多くの保育園や小学校で児童体験農業を実施できるようにするとともに、食のフェスティバルについても、事業を市内全体に展開できるようにすることを期待する。 ○J Aとの連携に期待する。 ○地産地消の積極的な推進。 ○学校給食には調味料だけでなく農産物も同様に使用したり、農業体験を通したりして食育の推進を図っていただきたい。
提案補足	

4 美しいふるさとと、歴史や文化を大切にすまち

4-1 美しく半田らしい景観の整備

4-1-1 美しいまち並みを保全・創造します。

4-2 歴史的・文化的環境資源の保全と継承

4-2-1 地域の歴史的・文化的資源を保全・継承するとともに、環境に配慮した観光資源の整備を推進します。

4-3 ゆとりややすらぎ、活気のある空間の整備

4-3-1 公園や広場等の市民が憩う場の整備を推進します。

4-3-2 環境に配慮した中心市街地の整備を推進します。

評 価	AA - 5		良好です		改善・見直しの必要があります
	A - 6	AA		B	
	B - 1		概ね良好です		改善・見直しを行い一層の努力が必要です
	C - 0	A		C	
コメント	【評価できる点】 4-1 ○半田運河、赤レンガ等、整備が進んでいる。 ○矢勝川や半田運河周辺に関わる景観整備やイベント開催は評価できる。 4-2 ○運河沿いの整備。 4-2 ○半田運河周辺の景観整備等、環境に配慮したはんだ山車まつりの運営など、魅力あるまちづくりが展開されていると思います。 4-2 ○インスタ活用したフォトコンテストは、時代にマッチした PR 効果や景観への啓蒙効果の高い Good な取組み。 ○コンテストにおいてのインスタグラムなどの SNS の活用、市内外の幅広い世代に PR できた点は評価できる。 4-2 ○山車まつり、運河周辺整備、南吉事業など個々の取り組みが発展している点。 ○文化的資源の活用を図る施策など考えられている。 ○市民盆踊りと半田運河での「キャナルナイト」のコラボレーションは評価できる。 4-3 ○公園へ健康遊具を採用（設置）することは評価できる。 ○公園等の整備も着実にされていると思います。 ○半田市のセントラルパークである雁宿公園などが整備された。 3-1 ○市民が利用しやすい雁宿公園の整備。 3-1 ○地域の活性化の取り組みは順調と思います。				

	【今後の課題及び期待したい点】 4-1 ○景観重要樹木は市指定天然記念物とは一致しないはず。周辺の景観に寄与していて市民がナルホドと思うモノを指定しなければならない。 ○半田運河周辺が大分整備されてきていますが、公衆トイレの設置を景観にふさわしいデザインでお願いしたい。 4-2 ○他の観光地におけるPR方法を研究・検討したり、これまで以上に知多半島の他の市町と連携したりすることにより、新たな観光資源の掘り出しやPR方法の改良などを行い、さらなる魅力づくりを図っていただきたいと思います。 ○単発的イベントから、地域経済の発展活性化へとつなげる政策作りが必要と考えます。また人口構成が少子高齢化へと変化する中で、地域内の職住の安定的確保できる定住化施策が迫られている。 ○文化財への意識啓発を図るためにも、四季を問わず散歩がてらに見学可能な文化財（屋内や塀内は除く）は観光マップに記載してほしい。 4-3 ○他市町も同様な傾向かも知れないが、中規模の公園でトイレが使用禁止になっているのが増えている。非常に残念なことである。 ○地域の活性化の取り組みは継続が大切です。行政、企業、市民共に努力していければと思います。
提案補足	○景観形成については、観光客も含め市街からの評価を集める機会も必要。 ○公園などを作ったから目標達成ではなく、あくまで目的として掲げた、市民が集うやすらぎの場になっているかまで検証し、なっていないければソフト面での追加の仕組みづくりや、今後のハード面での施策の見直しにつなげていくべきである。

5 みんなで環境を守り育てるまち

5-1 環境学習の推進

5-1-1 あらゆる世代への環境学習を支援します。

5-1-2 地域と学校が連携した環境学習を推進します。

5-1-3 環境学習指導者や地域での環境活動の担い手となる指導者を養成します。

5-2 市民・事業者・行政による良好なパートナーシップの形成

5-2-1 地域・事業者・行政など各主体間の連携を図ります。

5-2-2 各主体間における環境情報の共有及び活性化を図ります。

5-2-3 環境NPOや環境保全団体等の育成及び活動を支援します。

評 価	AA - 1 A - 9 B - 2 C - 0	 AA	良好です	 B	改善・見直しの必要があります
		 A	概ね良好です	 C	改善・見直しを行い一層の努力が必要です
コメント	【評価できる点】 5-1 ○様々な教育や学習機会が実行されていること、課題についても的確であること。 ○家族向けの講座やイベントの開催は、家族で環境について考えるいい機会になっている。 ○小学校など教育現場への出前講座開催は情報誌（リーフレット等）の配付に比べ、実物を通して環境学習が展開できるので大いに評価したい。 ○子どもへの環境学習の場は、学校や地域と連携して行えていると感じられる。 ○小学校にて地域と連携した環境学習が行われているのは良い。 ○環境教室も開催されているし、小中学校とも連携し環境学習の取り組みがされている。 ○企業と連携して環境教育事業を推進していることは、企業にとっても、地域への貢献や企業への理解等の観点からメリットがあり、非常に良い取組であると思います。				
	【今後の課題及び期待したい点】 ○何となく環境学習やパートナーシップの施策が対処療法的に感じる。半田市としてのしっかりしたビジョンやカリキュラムなどがあるとよいと感じる。 5-1 ○前年に比較し、環境学習活動が前進していない。 ○地球温暖化防止に関する各階層への環境学習の実施も今後の課題である。 ○ごみ有料化に合わせた環境学習のテコ入れ ○大人の一般市民向けの環境学習講座も必要ではないかと考える。 ○外国人を含む転入者への啓発活動。				

	○行政にやってもらう受け身の環境活動では地球環境が守れないという世界的な潮流がある中で、子供や市民一人一人が自ら環境に対して何ができるのかを考えて動いていく環境マネジメントシステムの導入を学校にとどまらずに各家庭でも取り入れてもらえるような仕組み（簡易版の作成や教育など）づくりが必要。 ○学校で環境教育学が取り組まれています、自然環境を保全維持する農業分野への教育体制シフトに取り組んでほしい。農業後継者難は危機的状況です。農業への機械化、AI化も重要ですが、食糧生産活動は地域経済の雇用と文化継承を守る原点と考えます。 ○幼稚園、保育園とも連携できれば良いと思う。 ○ごみ焼却工場内の環境学習施設の地域連携による運営 ○環境学習等の事業に協力することは企業にとってもメリットがあることを大いにアピールし、環境学習事業に協力する企業をもっと増やして欲しいと思います。 ○環境学習ボランティア養成講座のみならず、様々な手法を活用して、環境学習の指導者や地域での環境活動の担い手となる指導者を育成していくことを期待する。 5-2 ○アダプトプログラム登録者数が 9,000 人以上であることは市の対応が良好であることを示し評価できるが、その実態が推測できず、実質的な評価はできない。 ○市民活動の把握をし、連携や成果発表の場を設けることを期待する。
提案補足	